京城日報 夕刊 二月二十三日(日)
編輯兼發行人 長谷川如是閑 印刷人 小川三之介
東京市麹町區平河町一丁目 社會部 京城日報社

三共 三日精 京城 三巴商會合資會社 製造元

民、政兩黨の開きは九十九名となる

鹿兒島縣第三區を最後に總選擧開票全く終る

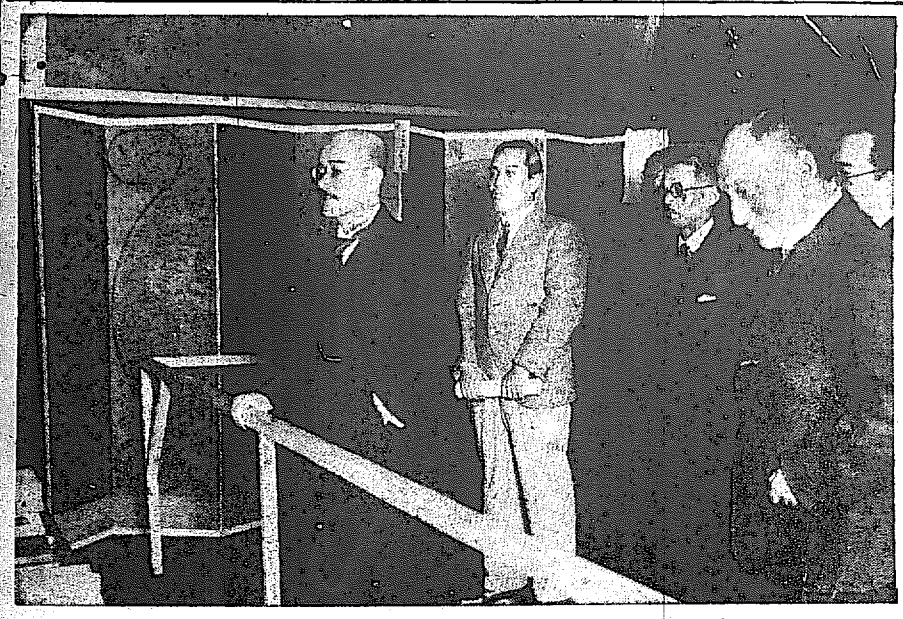
【東京電報】當選者ある毎に選擧區二次總選擧の結果は二十三日を以て全部の開票を終り、こゝに勝敗の帰趨は明かに分れは政友會與黨の壓倒的勝利をもつて幕を閉ちた。時ち民政、政友兩黨の開きは實に九十九名に達し、かゝる政友會は民政黨の解散論と恰度同數の議席を占むることゝなつた。各派の分野は左の如し（括弧内は解散前の議席）

▲民政黨二七三（二七四）▲政友會一七四（二三八）▲社民黨二（四）▲大衆黨二（二）▲勞農黨一（〇）▲地方無産黨〇（二）▲革新黨三（二）▲國民同志會六（二）▲中立五（二二）

國民の信頼

政友會の敗戰は多年惡政の結果

安達内相談

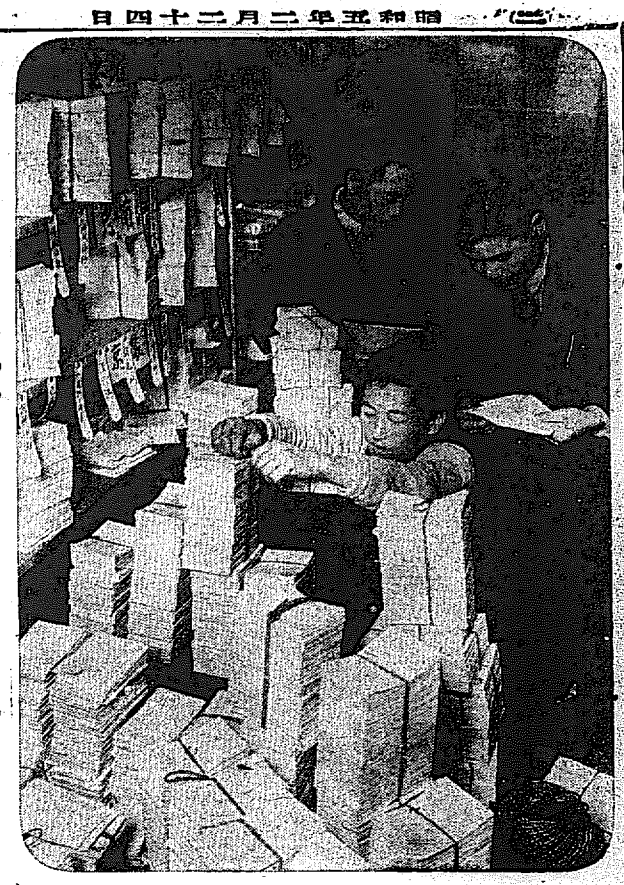


兒玉總監藏珍展に來觀（社本來青閣にて）

【東京電報】安達内相は二十二日總選擧の結果について、次の如き談話を發表した

動乱の中心は決定した中内閣二ケ年間の失政惡政が國民の總選擧を招いたことが如何に今回の總選擧に反映したかを如實に物語つて居る。今回の總選擧で民政黨が惨敗の憂目を見たのは、政友會の惡政に出た結果、先鞭が第二、第三

【東京電報】總選擧の結果について、政友會の敗戰は不振の狀態であるが、二十二日政友會本部に於ては政友會の敗戰を



殺到するハガキ　（名勝地推薦の投票）

京仁荒しの強盜

西大門署に捕はる

飲食店に潛伏中を

二十一日夜、京城外郭宅部瑞興里九十三番地、鮮人飲食店「永興館」を襲撃して炭俵にあつた刃物を奪ひ、尺余の鋸刀を喉きつけて主人夫婦を縛切れで後手にしばり上げて脅迫し、かたわらにあつた箱上げ金四十錢、人絹一まき時價五圓を強奪して逃げ去つた。

警官らは直ちに捜査に着手し、本月二日午後七時、仁川府麻浦里十七番地、飲食業李相福方に潜伏中を捕縛し、同人の自宅により捜査した府巡査部長、八十番地、鮮人一名、金鍾鶴（三）も同十一時、自宅に潜伏中を捕縛して京城に護送して取調べの結果、本月九日午前三時、仁川府内里六十番地、金貴鶴、鮮人方に侵入し、刺し身庖丁を突きつけて現金百十圓六十錢、金時價二圓、時計二個、價六十圓を強奪した。

なほ余罪ある見込みで引續き取調べ中であるが、仁川を荒し廻つた二十一日夜、外郭宅部瑞興里九十三番地、鮮人飲食店「永興館」にあつた刃物を奪ひ、尺余の鋸刀を喉きつけて主人夫婦を縛切れで後手にしばり上げて脅迫し、かたわらにあつた箱上げ金四十錢、人絹一まき時價五圓を強奪して逃げ去つた。

警官らは直ちに捜査に着手し、本月二日午後七時、仁川府麻浦里十七番地、飲食業李相福方に潜伏中を捕縛し、同人の自宅により捜査した府巡査部長、八十番地、鮮人一名、金鍾鶴（三）も同十一時、自宅に潜伏中を捕縛して京城に護送して取調べの結果、本月九日午前三時、仁川府内里六十番地、金貴鶴、鮮人方に侵入し、刺し身庖丁を突きつけて現金百十圓六十錢、金時價二圓、時計二個、價六十圓を強奪した。

なほ余罪ある見込みで引續き取調べ中であるが、仁川を荒し廻つた鮮人の仕業と判明、なほ二人の仕業と判明、なほ二人の仕業と判明、なほ二

慶北道議會

二十二日から開催

北道議會議會は廿二日午後一時道廳議室において開催出席議員州一名、欠席五名、林知事諮問事項につき開會を宣し議案の移動並に議案の報告を聞き直ちに諮問事項に入り議案審査委員は前回に引き続き伊藤十六郎金二十四郎の両氏を指命し終つて那珂の如き挨拶ありて議會の日程については議会の日程は廿四、五、六、七、八日まで休會廿三日は日曜なるをもつて休會案件部を諮了して三月一、二の両日間を拝聴するとしたいと述べ次いで磯崎内務部長の議案に對する説明に入るに先立つて

▲組合議員　由来議員に對し會議直前に議案を配布するは充分調査することが出来ぬ此點に就いては前年の本會議に於ても常に問題となり相當の日數を費す旨明であつたに拘らず此の事あるは誠に遺憾であると質問すれば

▲磯崎内務部長　仰せ御尤であるが何しろ豫算編更と豫算に關する本府との打合せ事項の決定が遅れた爲めであるからお含み置き願ひたい

▲議員　打合せ事項が遅れたのならば會議日時を遅らせばよいではないか二、矢を酬いて岡崎番外更に説明するところがあり議案の説明に入つたが約二時間半に亘つて豫算編成の内容の詳細を極め簡に要約の事情に對する質問答弁あり終つて午後六時散會

林知事演述要旨

◇林知事の演述大綱は左の如し

◇昭和五年度地方費豫算の編成に付ては政府の緊縮方針に基き力經費の節減を加へたが苦だしき事情のため地方細民の窮狀は昭和四年度の地方費歳入赤前述の通多大の影響を蒙り昭和三年度に劣らざる減收を見るに至り國庫上經々豫算を講じてなほ且昭和五年度の繰越金は殆んど皆無の見込のみなるすべて年に亘る事情は昭和五年度における一般の歳入に迄も影響致するが故に前述の如く豫算を否認なく緊縮を加へざるべからざる狀況に立つて居るのであるべての外臨時費の終了、師範學校の移管並繰越の減少等、本年度豫算總額は三百四十三萬五千九百八十八圓といふ數字を示したのは前年度豫算に比すれば實に地方五萬八千八百卅五圓を減じた然し財源の許す限りは土木、勧業、教育、衛生等各般の事業に對し完璧を期すること民政濟を目的とする地方費予算には特段の意を用ひて編成した

◇これを要するに豫算總額の減少を見たことは各位と共に遺憾とするが本年度豫算は二百六萬一千七百餘圓の歳計を按配して既定計畫の完成充實を主眼として編治上緊要なる諸設の施設は必ずしも之が全然を為すべきものと雖も本年度の財政は内務部長の説明の如く本府の方針に基き本年度は地方費の負担を軽減する為に一般の歳入の減少を示したのは前年度豫算に比して一億二千萬圓の減額を見又歳出經常部に於ては百二十八萬二千百餘圓の減額を見臨時部に於ては百二十八萬二千百餘圓の減額を見て歳入歳出共に減少を示したのは前年度豫算に比較して一億二千百餘

風流奴茶屋 (12)

稲岡奴之助 荒川芳三郎 畫

当手に興

やがて瞳目の間も破つて、一道の光がパッと迸りを照した。それは彼方の木立の蔭から炎を照して来たのであつた。

柴犬と聞いて二人の大男が一とふの手興をかいて来た。

三郎正次の遊化師はその火の光で初めて彼等を見た、何れも黒い覆面で覆面をした巨漢で、身に鼻々と小鳥具をつけた草鞋穿きで、手んでに太い棍棒を握へた上に、眼には大だんびらを帯びてゐた。

三郎正次はこの異形な扮装の者共が、果して何者であるかと思ひ

さくら咲けとばかりに
唐人出初めたさくら勝・屋
伊浩町 木村

撃つた、しかし彼は撃ちこの刑に おをんでは、もつとも驚がなかつた。何でも或るやうに感れと度胸を据ゑて、黙つて彼等のなすがまに任せてゐた。

彼等は彼等の網張に踏したらしく、素早く手興を取れなる抑留の刑へかきすえた。

『遊化師・・・』

『・・・』

『・・・』

『